

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> Studying Room <input type="checkbox"/> 宅配ボックス <input type="checkbox"/> その他 ()
4) 住居を探した方法
<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の指定 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のホームページ <input type="checkbox"/> 留学経験者に聞いて <input type="checkbox"/> 個人的に探した <input type="checkbox"/> その他 ()
5) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)
利用交通機関 : <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ()
通学時間 (片道) : 10 分
6) 宿泊費は、どのように支払いましたか?
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input type="checkbox"/> その他 ()
7) 滞在先についての満足度を教えてください。
<input type="checkbox"/> 非常に満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

現地情報 (FSU)
1) 大学内の医務室/診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか?
<input type="checkbox"/> はい (利用機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか?
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか?
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ↳ 「はい」の場合予防接種の種類: はしか、風疹、おたふく
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか?
<input type="checkbox"/> 留学先の友人 <input type="checkbox"/> 日本にいる友人や家族 <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の先生 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のカウンセラー <input type="checkbox"/> 海外留学先大学の留学担当窓口 <input type="checkbox"/> ホストファミリーや RA (レジデンスアシスタント) <input type="checkbox"/> その他 ()
6) 現地の治安はどうでしたか? また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
スリや強盗はなかったが、駅の近くなどに行くと麻薬中毒者が散見された。外務省のメールや現地のニュース、現地の友だちの話で情報収集。実際に巻き込まれたことはなかった。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか?
Wi-fi が完備されていて、zoom の接続も良好だった。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか?
日本から持参した現金、クレジットカード。
9) 利便性、買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていきべき物がありますか?
寮から徒歩 10 分程度のところにドラッグストアがあり便利だった。基本的に物価が倍くらいなので持っていけるものは持参したほうが出費を抑えられる。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
FSU のメンターはとても優しくフレンドリーなので、英語に慣れるためにも積極的に話したほうが得です。

5) インターンシップ先内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
<input type="checkbox"/> インターンシップ先の友人 <input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ先の上司・同僚 <input type="checkbox"/> 日本にいる友人や家族 <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学(FSU)の先生 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学(FSU)のカウンセラー <input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ先の担当窓口 <input checked="" type="checkbox"/> Flamingo Crossings Village のスタッフ <input type="checkbox"/> その他 ()
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
ディズニーの敷地内はとても安全。外務省からのメールや現地のニュース。近めの街で犯罪があったときは絶対に近づかないようにした。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
Wi-Fi があったが、接続は悪かった。SIM が容量無制限だったので Wi-Fi なしで利用していた。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
給料が入るデビットカードが支給されるので、それを使っていた。現金や日本のクレジットカードはほとんど使わなかった。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていきべき物がありますか？
無料のバスでターゲット、ウォルマートというスーパーに行ける。小さいターゲットは徒歩でも行ける。レトルトご飯、めんつゆ、圧縮袋（帰国時用）などは便利だった。
10) 滞在費は、どのように支払いましたか？
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input checked="" type="checkbox"/> その他（給料から天引き ）
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

移動について (WDW)

1) フロリダ州立大学から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学のピックアップサービス <input type="checkbox"/> 公共交通機関（バスや電車） <input type="checkbox"/> ホストファミリーのお迎え <input type="checkbox"/> その他 ()
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい（期間： 2 日間 ） <input type="checkbox"/> いいえ

学習・インターンシップについてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	Global Perspectives: Communication (Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について	すべて zoom での授業だったので実際に生徒同士でディスカッションをしたりするわけではなかったが、積極的な発言を求める先生だったので、アクティブで刺激的な授業だった。毎回最初に調べてきた異文化コミュニケーションに関わるニュースを共有する時間が設けられていたので、実際に起きている時事問題と学んでいる内容を結び付けやすくなっていったと思う。授業で講義があった「なぜ海外経験は重要なのか、なぜ人を寛容にするのか」というテーマが印象に残っている。アメリカに到着後すぐの 1 週間の集中授業で午前午後合わせて 5 時間あり、時差ボケもある中で予習やクイズのための復習もするのはとても大変だったが、内容はとても面白く国際日本学部の多くの人が興味のあるテーマだと思う。
履修した授業科目名の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

履修した授業科目名	Application of Communication Skills (Applied Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について	WDW のインターンシップ開始後、月に一度 FSU の先生が寮に来てくれ授業が行われた。カルチャーショックなど、自分の住み慣れた環境を離れて異文化の中で生活することの障害やその対処法などに関する授業。また、日本とアメリカの文化の違いの比較も行った。例えば、時間に対する価値観、上司に対する態度など様々な側面から「異文化」を見つめ、現地での生活に生かす方法を教えてくれる有意義な講義だった。
履修した授業科目名の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

履修した授業科目名	Communication Internship (Intercultural Communication Practicum)
授業内容や試験、授業を受けた感想について	授業はなく、WDW でのインターンシップそのものと、その中で得た知見をまとめるレポート課題で成績がつく。実際にエンターテインメントの施設で英語を使って働くということは、英語力だけでなく笑顔やゲストが声をかけやすい雰囲気をつくることなど大切なことがたくさんあり、上のふたつの授業でカバーされた内容を実践できる機会だった。また、接客英語は日々のなかで表現できなかったフレーズなどをネットで調べて次に活かしたり、同僚が言っている表現をそのまま使ったりという方法で覚えていった。自分のモチベーションと積極性次第で英語力が向上するかが決まる。ゲストとの会話よりも仕事時間内外での同僚との会話のほうが実際に使える英語であると感じた。また英語力にとらわれずアメリカ国内外の友だちと様々な話題で話すことはとても楽しく、帰国後の現在でも SNS でやり取りする友だちができた。
履修した授業科目名の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	<p>通っていた高校が国際学科だったこともあり、英語指導や留学に力を入れている大学・学部を受験校として絞っていた。調べていると明治大学国際日本学部にも本プログラムがあることがわかり、受験を決めた。一般的な留学で英語の講義を聴くだけよりも、実際にテーマパークで働くことで生きた英語を身に付けられると予想したため、本プログラムはとても魅力的に感じた。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>コミュニケーションに必要な英語力は語彙数やリスニング、スピーキング能力などあげればキリがないが、ディズニーワールドで働く以上、映画やキャラクターの英語名をもっと知っておくと、ゲストから質問されたときに役立ったと感じた。</p>
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	<p>Facebook はシフトの交換などに必須で、自分の職場ごとにグループがあり、有益な情報もたまに共有された。また、現地の友だちとのやり取りは Snapchat が主流だったので現地でインストールした。また、Amazon Prime Student を FSU の生徒情報を使って 6 か月間無料で利用することができたので、日用品の購入に便利だった。</p>
大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)	<p>FSU のメンターは先述した通りとても優しくて親しみやすい、アメリカ入国後最初の一週間で英語に慣れるのはもちろん、アメリカ全体やディズニーワールド、オーランドについてなど色々な情報を教えてくれてとても助かった。</p> <p>同僚は、上司を含めてとても人に恵まれたと個人的に感じる。特に日本好きの人がとても多く、アニメや漫画などのポップカルチャーに関する知識があればあるほど話が盛り上がるし、ポップカルチャーのファンでなくても「一生に一度でいいから日本に行ってみよう」という同僚が多くとても話すのが楽しかった。アメリカ人は仕事の時間の中でメリハリをつけて効率的に動くことを重視する人が多いと思う。</p>
滞在先の雰囲気	<p>2022 年に新設されたということもあり、とても綺麗でジムやプールなどの設備も充実していた。仕事で夜遅くに帰宅しても灯りや人が多いおかげで怖いと感じたことはなかった。</p>
留学先における交友関係	<p>一番仲良くなった友だちは職場の韓国人。やはり、ネイティブとは会話のスピードが違うため、一対一で遊べるほど仲良くなるのは難しいと思った。その点で韓国人とはお互い第二言語同士で喋るのでストレスが少なく仕事前に遊んでから一緒に出勤したり、オフの日にも遊んだりして多くの時間を一緒に過ごせた。また、私は偶然、現地に住んでいて車を持っている人と仲良くなれて、車社会のアメリカでディズニーの敷地外で遊ぶときは必然的に彼女と行くことが多かった。仕事でも雑談できる機会は多くあるので、自分の積極性次第で会話量も友だちも増やせると感じた。</p>

<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>私は幸運で、特に病気や大きな問題もなく6か月間過ごすことができた。一番つらかったのは最初の FSU での一週間で、時差ボケの中長時間オンライン授業を受けて夜レポート課題をこなすのが体力的にきつと感じた。また、これからアメリカで留学する人に伝えたい話として、現地でコロナにかかった韓国人の友だちが普通の病院ではなく一番近かったという理由で救急病院に行ってしまう、保険がきかずに高額請求されてしまった、という経験があったので、命にかかわるようなことでない限り救急病院(ER)には行かないことをお勧めする。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>最初の一週間の集中授業に加えて、インターンシップが始まってからも月一で FSU の先生が来て授業がある。またその日に Intercultural Communication のオンライン授業もあり、11 月末の授業でパワーポイントを使ったグループ発表課題があった。12 月初旬には 750 語以上の Final Report があり、それが最後の FSU 課題だった。ほかの留学プログラムに比べてとても授業や課題に必要な時間は少ないので、自由時間が確保しやすく、それゆえに英語力や教養・知識を向上できるかは自分次第になると思う。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>職場によってスケジュールされるシフトの時間に差があるが、仕事の時間が多くを占めるので、それ以外の時間で遊んだり家事をしたり、FSU 課題をすることになる。自由時間が本当に多いので、家でダラダラすることもできてしまう。いかに自分が留学している意味を意識して有意義に過ごそうとするかが大切だと思った。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>Intercultural Communication の授業で学んだ、「海外経験により人に寛容になる」という意味を、実体験を通して理解することができた貴重な経験だった。Disney College Program には世界各国から参加者がいるため、日本⇔アメリカ間だけでなく幅広い異文化交流ができる。日本に興味のある人と出会う機会もたくさんあったので、このプログラムを通じて国際日本学部の理念である「世界と日本をつなぐ」というコンセプトの実現に近づけることも可能だと思う。また、有給インターンであることから他の留学プログラムよりも圧倒的に経済的なハードルが低いプログラムであり、少しでも興味がある人には挑戦してみる価値がとてもあると自信をもっていえる。</p>
<p>就職活動について</p> <p>就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。例えば、留学前や留学中の就職活動へ向けた準備や、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。</p> <p>※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。</p>	
<p>留学前から英語を使った仕事に就きたいと考えていたので、大きな意識の変化などはないが、学年が上がったこともあり、より現実的に企業調べなどを行って就職活動に入っていく準備をしている。</p>	